

平成 31 年度輸出環境整備推進事業（国際的認証資格取得等支援事業）を活用した
「タイ王国向けかんきつ輸出検査（タイ王国検査官招へい）について」



日本青果物輸出促進協議会

（三重県農林水産物・食品輸出促進協議会）

（1）概要

タイ王国は国別・品目別輸出戦略において新興市場に位置付けられており、今後のかんきつ類の輸出量増加に向けた取組を実施していく中で、日タイで取り決められた植物検疫条件に定められた日タイ合同輸出検査が条件となっており、対応が必要となっている。

（2）タイ王国向け輸出検疫の流れ

タイ王国向け輸出みかんについて、検疫条件として日タイ合同輸出検査が必須となっている。その対応として、ミカンバエ現地モニタリング調査、トラップに関するデータ・日本側植物検疫官の巡回報告の確認、タイ王国検査官による輸出園地視察をおこなった。選果梱包施設では、次亜塩素酸浸漬処理による果実表面の殺菌、TBZ 浸漬処理による防かび剤処理及び今年度から新たに検疫条件に追加された WAX 処理工程のデモンストレーションを実施した。輸出検査では、複数園地を 1 荷口としてサンプル抽出を実施することを検査官から了承してもらっているため、輸出事業者ごとに検査用サンプルの抽出をおこなった。病虫害の付着や腐敗につながるキズ等が無いかタイ王国検査官と名古屋植物防疫所検疫官が 1 つずつ外観を目視で検査した。傷みや不良果はいくつか見られたが、特に大きな問題はなく、輸出検査証明書に署名をしてもらい、無事検査が終了した。

（3）検査官来日日程

1. 令和元年 11 月 17 日～20 日
2. 令和 2 年 2 月 23 日～26 日

（4）検査スケジュール

【1. 令和元年 11 月 17 日～20 日】

11月17日 移動	11:40 発 ～21:00 着	バンコク発→香港経由→中部国際空港着
11月18日 移動、検査	(AM)	ホテル（名古屋）→三重南紀
	13:30	検査打合せ WAX 処理確認 園地視察
	18:00	夕食、ホテル宿泊
11月19日 検査、移動	9:00	検査打ち合わせ
	9:30	輸出検査～積み込み確認

	(PM)	書類確認 三重南紀→ホテル(名古屋)
11月20日 移動	9:40発 ～16:40着	中部国際空港発→香港経由→バンコク着

【2. 令和2年2月23日～26日】

2月23日 移動	10:45発 ～18:10着	バンコク発→中部国際空港着 →三重南紀へ移動
2月24日 検査	(AM)	検査打ち合わせ
	13:00	薬剤処理～WAX処理確認 園地視察
	18:00	夕食、ホテル宿泊
2月25日 検査、移動	9:00	検査打ち合わせ
	9:30	輸出検査～積み込み確認
	(PM)	書類確認 三重南紀→ホテル(名古屋)
2月26日 移動	11:00発 ～15:40着	中部国際空港発→バンコク着

(5) 検査の様子

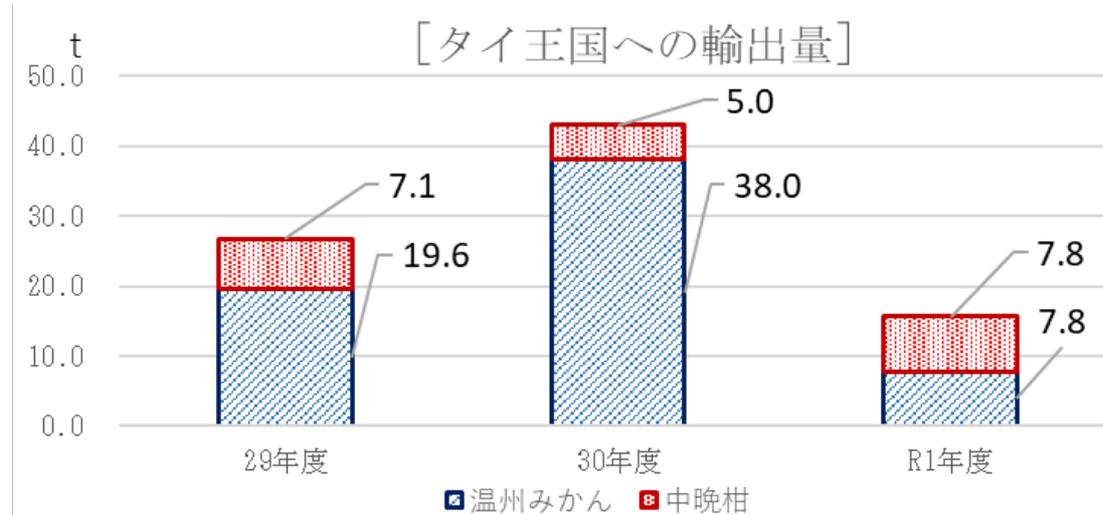


(6) 実施結果

11月、2月ともに問題なく検査を終了した。

タイ王国から新しい検疫条件として WAX 処理の工程が急遽追加され、合理的な方法による処理を確立できず、出荷段階で対応できる量に限界があったため、輸出量が大幅に減少した（早生温州の輸出回数は2回→1回に減少）。

(7) タイ王国への輸出状況



輸出数量の推移（早生温州みかん、中晩柑）

(8) 今後の輸出への対応

タイ王国向け柑橘の検査官招聘に関しては、検査方法が合同検査制から査察制に移行されることから、産地の状況に合わせて、輸出回数を増やすなどの輸出拡大への取り組みを行う。

さらに、課題となっている WAX 処理の工程に関しては、機械導入による対策を検討している。